

1 内政

捜査当局は、放火犯逮捕に有力な情報提供に2,500ドルの報奨金

ポンペイ州司法長官と事務長の事務所が放火された事件に関し、警察は事件に関与した者の逮捕につながる有力な情報提供に2,500ドルの報奨金を支払うことを発表した。ポンペイ州より調査依頼を受けたグアム消防署は当地に到着後、破損した2棟のビルの精密な検証を開始した。調査によると、犯人は建物へ不法に侵入し、意図的に放火したものとみられる。

(7月4日付 カセレリエ紙)

連邦議会特別選挙でアレン・パリク議員とピーター・クリスチャンが当選

2日、アレン・パリク議員が1,916票を獲得しコスラエ州の4年任期議員になり、クリスチャン前大統領が6,060票を獲得しポンペイ州の4年任期議員となった。

(7月2日付 カセレリエ紙)

パニュエロ大統領、マウイ島に住むミクロネシア人の声に耳を傾ける

パニュエロ大統領はハワイのマウイ島に住むミクロネシア市民と面会し、国外で生活することの懸念について会談した。パニュエロ大統領は、海外で暮らす市民の生活改善に努め、コンパクトの状況についても情報を発信する旨約束した。

米人身取引報告書、ミクロネシア連邦更なる取組強化の必要性を指摘

6月20日、米国は年次人身取引報告書(Trafficking in Persons Report: TIP Report)を発表した。2014年よりミクロネシア連邦は同報告書で、第2ランク(政府は人身取引撲滅へ向け、最低限の基準を満たす対策を講じていないがその努力は認められる)に評価されている。昨今、ポンペイ州とチューク州で人身取引業者が有罪判決を受け、年初には最初の人身取引被害者用のシェルターがチューク州に設置された。

(カセレリエ紙)

第24回ミクロネシア諸島フォーラムがチューク州で開催、ミクロネシアの持続的な繁栄の種を蒔く

10日から11日にチューク州で開催された第24回ミクロネシア諸島フォーラム(Micronesia Islands Forum: MIF)にミクロネシア連邦大統領と、グアム、サイパンの知事が出席し、ジェンダー平等宣言の作成に向けた協力などについて会談された。

(7月10日付 カセレリエ紙)

2 外交

第23回米独立記念祝賀レセプション，退役軍人に敬礼

4日，駐ミクロネシア米国大使館は，ポンペイ空港ラウンジに掲げられている殉職軍人の遺影に敬意を表するセレモニーを皮切りに米国独立記念日を祝った。独立記念祝賀レセプションは駐ミクロネシア米国大使館敷地内で開催され，数百名が参加した。

(7月4日付 カセレリエ紙)

パニュエロ大統領，米不法移民対策へ予防措置

昨今の米国による不法移民や滞在許可証を所持しない移民を強制送還する政策に関し，パニュエロ大統領は，米国に住むミクロネシア連邦の市民が，なんらかの誤解で同政策の影響を受けないよう，在米ミクロネシア大使館及び領事館に予防措置を講じるよう求めた。ミクロネシア連邦の市民はコンパクトに基づき，ビザ無しで米国へ自由に入国することができる。

(カセレリエ紙)

シンガポール，ICAO 理事国再選に向けミクロネシア連邦の支持要請

ヤップ・オンヘン・シンガポール首相特使はパニュエロ大統領を訪問し，2019年9月24日から10月4日まで行われる第39回国際民間航空機関（ICAO）総会の理事国選挙でシンガポールの再選に向けた支持を要請した。パニュエロ大統領は，外務省や国連代表部と緊密に連携し，本要請を真剣に検討する旨述べた。

(7月2日付 カセレリエ紙)

IOM（国際移住機関）所長，パニュエロ大統領に経過報告

2日，スチュアート・シンプソン IOM 太平洋島嶼国地域所長は，同地域における直近の取組についてパニュエロ大統領に報告した。パニュエロ大統領は，ミクロネシア近海に投棄された船の回収を含む，環境への取組強化に関する協力を求めた。

(カセレリエ紙)

太平洋共同体事務局（SPC）マイルズ・ヤン事務局長の表敬

パニュエロ大統領は，太平洋共同体事務局（SPC）のララ・スタジンスキー地域統括部長，マイルズ・ヤン事務局長と SPC 地域権利チーム（Regional Rights Resource Team）の表敬で，ミクロネシア連邦に国家人権委員会を設立する考えに関して意見交換を行った。ヤン氏によると，マーシャルは北太平洋を代表し

て国連人権理事会理事国選挙に立候補したことに触れた。パニュエロ大統領は、人権委員会を設立する考えについては、今後も SPC と連携したい旨述べた。

(7月15日付 カセレリエ紙)

3 経 済

中国企業 Young Sun は、ポンペイ州コンサベーション・ソサイエティに対して数百万ドルの反訴を継続

所謂「ナマコ裁判」について、中国企業 Young Sun は、連邦最高裁判所に対し、ポンペイ州コンサベーション・ソサイエティ（CSP）への提訴の棄却に反対したことを通知した。Young Sun は、数百万ドルの損害を受けたとして CSP を訴えている。CSP は Young Sun の訴えへの対応のため、未だ法律顧問が必要となっている。

(7月17日 カセレリエ紙)

4 経済協力

IOM, VGAH ラジオ局改良計画の引渡し式を実施

6月28日、VGAH ラジオ局にソーラーパネルが設置され、受領セレモニーが同局にて開催された。IOM は、ポンペイ州や離島に暮らす人々の安全と地域社会の強靱さの促進に寄与することを目的として、ラジオ局の技術、財政能力の強化のため、機材の改善・改良を行った。

(カセレリエ紙)

5 文化・教育

特記事項なし